2025年第9週
2025/2/24～2025/3/2

北区感染症週報

■東京都感染症週報
https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/weekly/
■国立感染症研究所感染症週報
https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html

・インフルエンザの東京都の定点当たり報告数は、1.41で今後の動向に注意が必要です。
・感染性胃腸炎の東京都の定点当たり報告数は、13.03で今後の動向に注意が必要です。

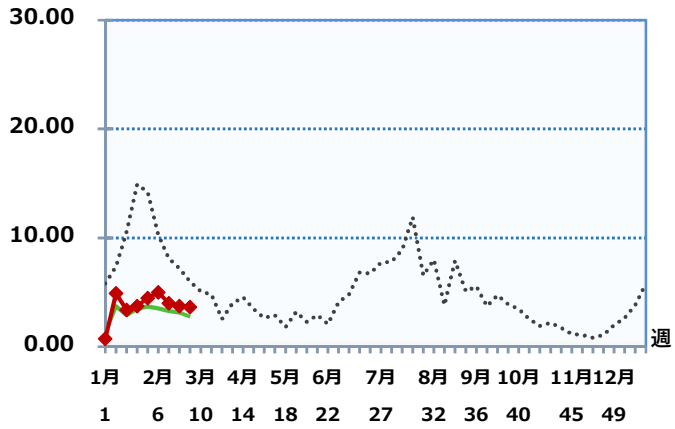
全数報告対象疾患報告数（北区届出分）

・五類感染症　ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）　1件
　　梅毒　1件

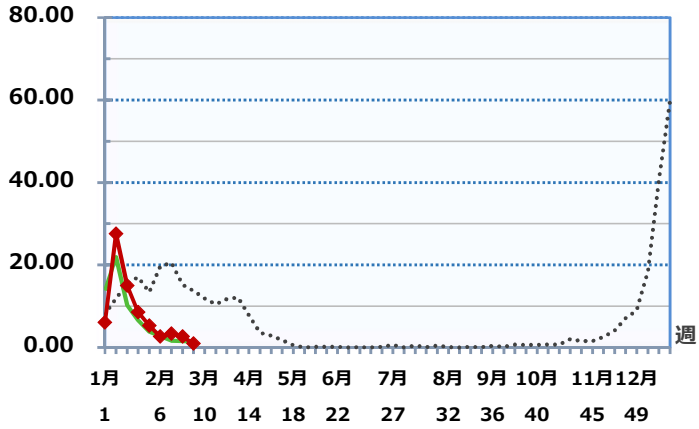
定点把握対象疾患

定点医療機関当たり患者報告数
（定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数）
2024北区
2025北区
2025東京都

新型コロナウイルス感染症



インフルエンザ



Topics　海外渡航される皆さまへ　～渡航中の感染症対策～

海外では、日本と気候や衛生環境が異なることから、様々な感染症に注意する必要があります。
今回は、渡航中に気をつけていただきたいことを紹介します。

●飲み物・食べ物に注意しましょう
生水や氷、生野菜・カットフルーツ、生の魚介類や肉には、A型肝炎などのウイルスやコレラなどの細菌、寄生虫がいる可能性があります。ボトル等に入っている清潔な飲み物や、よく火の通った食べ物を選びましょう。

●動物や蚊・ダニに注意しましょう
海外の動物は、狂犬病などの病気を持っていることがあります。むやみな動物との接触を避けましょう。
また、熱帯・亜熱帯地域では蚊が原因となるマラリアやデング熱、ダニが原因となる感染症が広く発生しています。
長袖の着用や虫除けスプレーなど、虫に刺されないための対策が大切です。

●汚染された土壌や水に注意しましょう
湖や河川は、寄生虫などの様々な病原体に汚染されている危険性があります。むやみな水遊びはやめましょう。
破傷風などは傷口から感染することがあるため、裸足で歩くことはやめましょう。

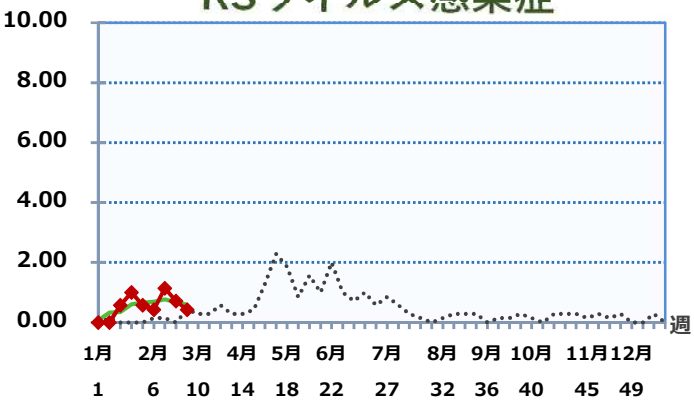
●もし現地で具合が悪くなってしまったら？
日本大使館や旅行会社等の紹介を受けた病院で手当てを受けましょう。各国の日本大使館・総領事館領事部では、現地で日本人がよく利用する医療機関や日本語の通じる医師の紹介なども行っています。

定点把握対象疾患

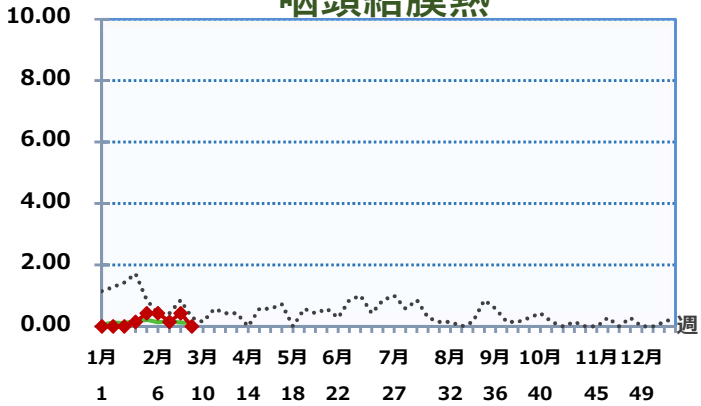
定点医療機関当たり患者報告数
（定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数）

2024北区
2025北区
2025東京都

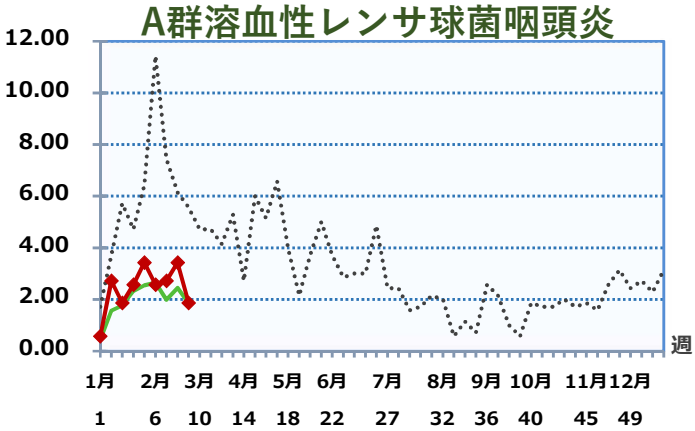
RSウイルス感染症



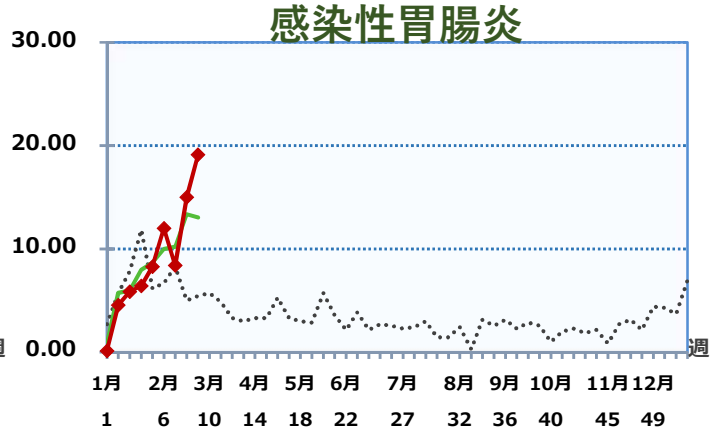
咽頭結膜熱



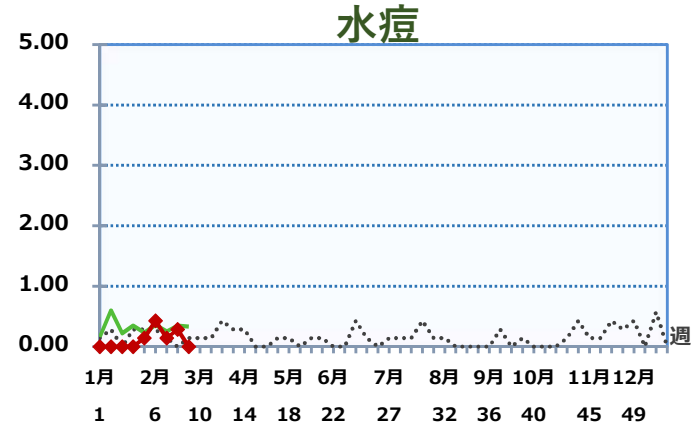
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



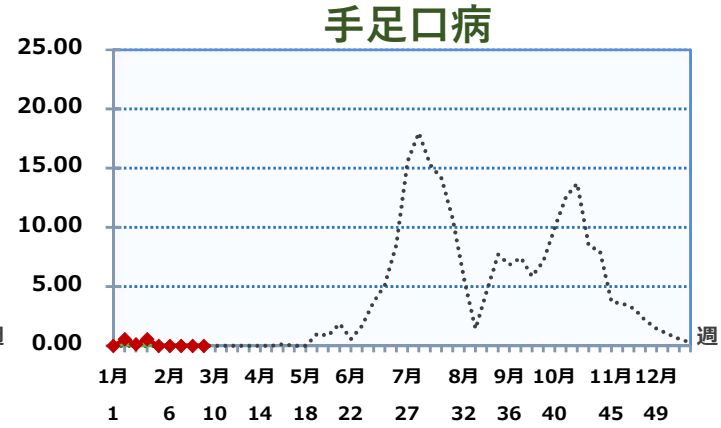
感染性胃腸炎



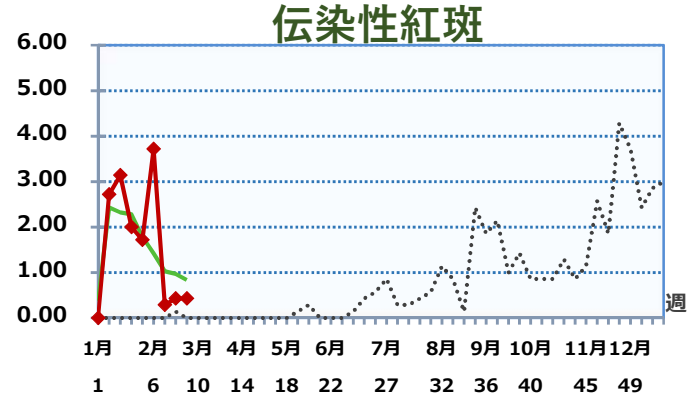
水痘



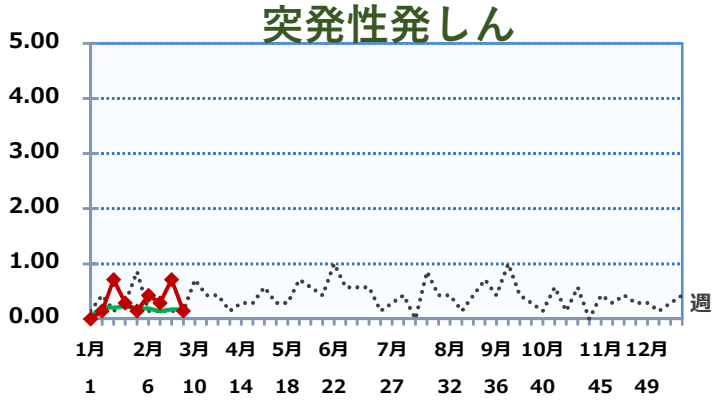
手足口病



伝染性紅斑



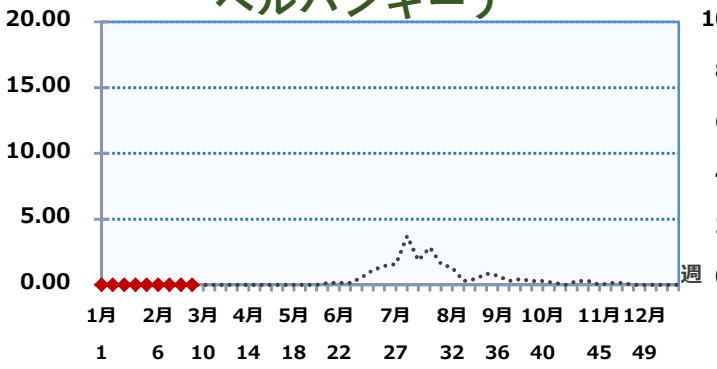
突発性発しん



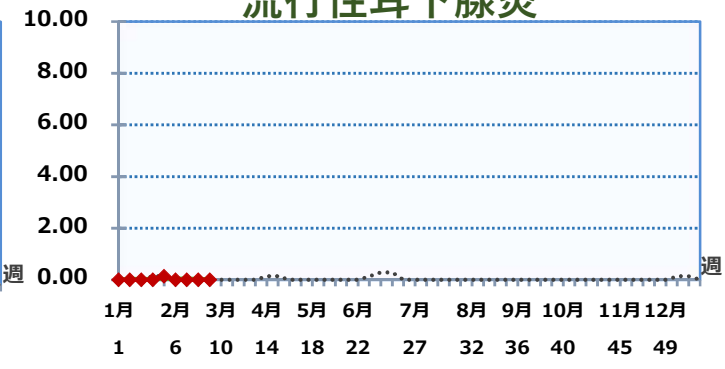
定点把握対象疾患

定点医療機関当たり患者報告数
（定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数）
2024北区
2025北区
2025東京都

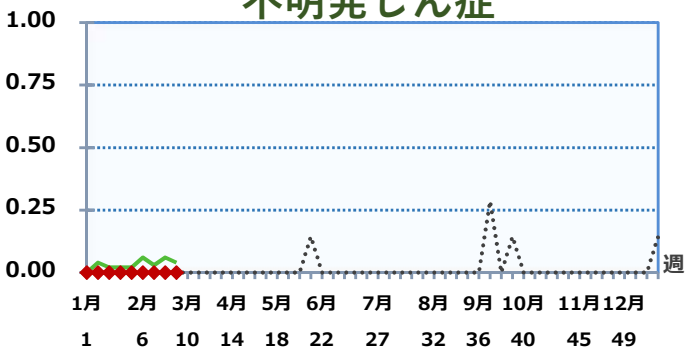
ヘルパンギーナ



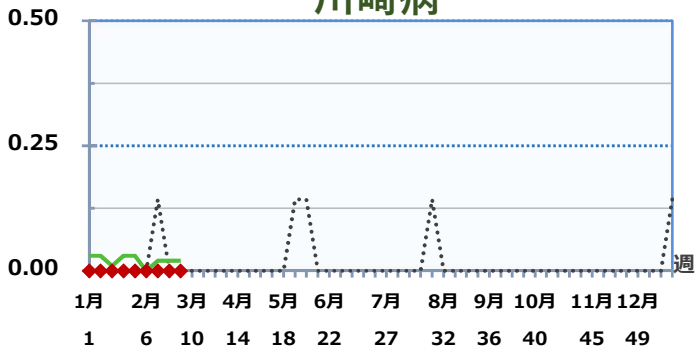
流行性耳下腺炎



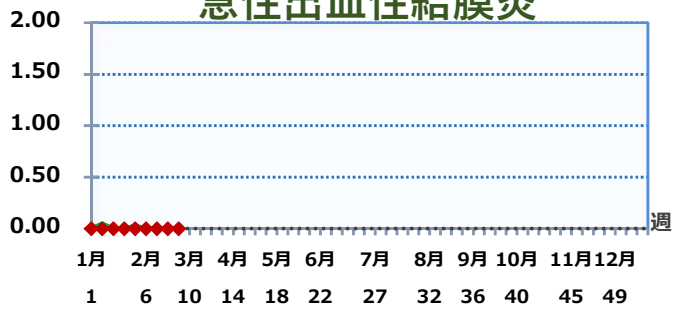
不明発しん症



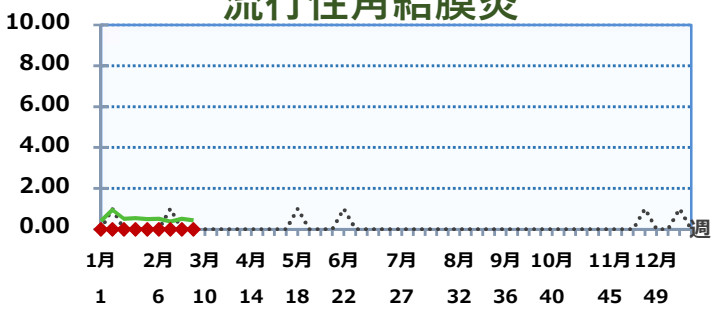
川崎病



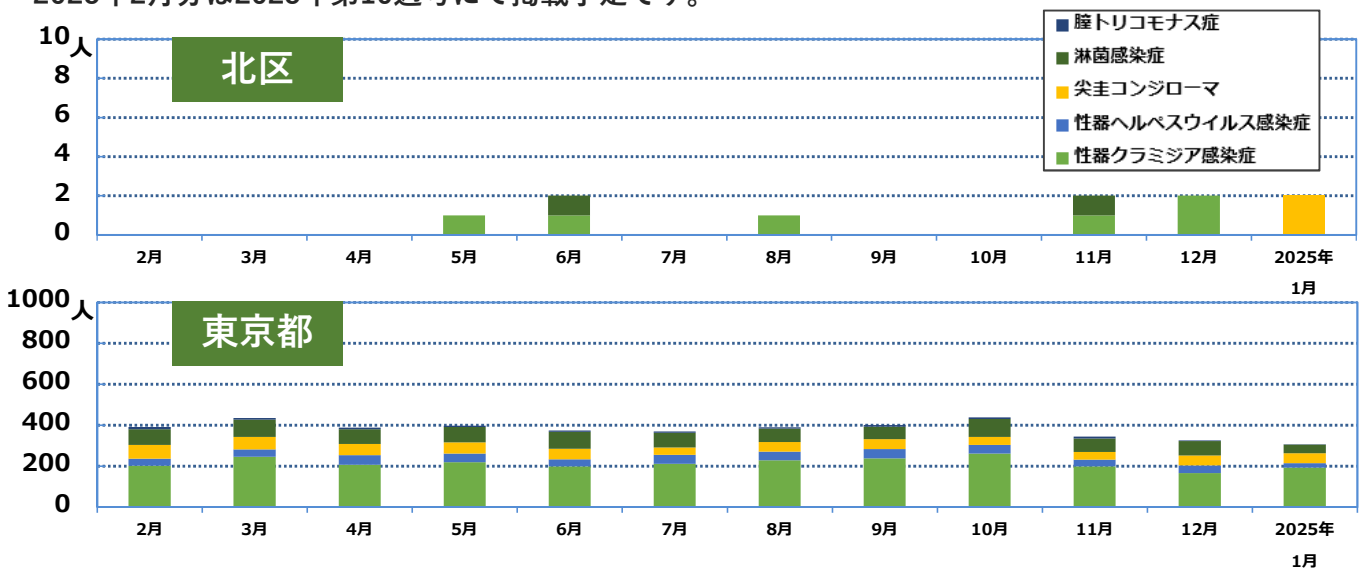
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



性感染症（2025年1月分まで）

※梅毒は「全数報告対象疾患」に掲載しています。

2025年2月分は2025年第10週号にて掲載予定です。